



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 リーダー電子株式会社
 コード番号 6867 URL <https://www.leader.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 行造

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 梶川 元靖

TEL 045-541-2121

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,323	8.8	90		45		64	
2020年3月期第3四半期	2,549	9.2	235	4.1	230	2.0	167	16.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 99百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 159百万円 (11.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	14.62	
2020年3月期第3四半期	46.10	45.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	5,175	4,342	83.5	968.96
2020年3月期	5,593	4,537	80.8	1,018.59

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,321百万円 2020年3月期 4,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		26.00	26.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では2021年3月期の期末配当については未定であります。今後の業績等を勘案し、開示が可能となった時点で速やかに開示する予定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	18.1	70	84.0	85	80.6	90	77.2	20.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,460,501 株	2020年3月期	4,436,501 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	123 株	2020年3月期	95 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	4,441,683 株	2020年3月期3Q	3,630,376 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞を背景に、企業の投資が抑制されるなど、景気の悪化が急速に進みました。また、世界経済につきましても、一部の地域で景気の持ち直しが見られましたが、感染の再拡大により個人消費や設備投資等が落ち込み、景気は大幅に減速し、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループが関連する放送業界におきましては、国内外ともに新型コロナウイルス感染症による企業活動の停滞の影響により設備投資が先送りされ、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,323百万円（前年同期比8.8%減）、経常損失45百万円（前年同期は230百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失64百万円（前年同期は167百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループの事業が電気計測器の開発と製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる売上高の品目別内訳及び地域別内訳は次のとおりであります。

<品目別内訳>

① ビデオ関連

主力の放送関連機器の販売が、北米において好調に推移いたしました。国内での需要が大きく停滞し、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は1,999百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

このうち、PHABRIX社の売上高は210百万円でした。

② 電波関連

テレビの電界強度測定器の需要が堅調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は195百万円（同12.0%増）となりました。

③ その他

汎用計測機器・修理・部品等であり、特記すべき事項はありません。

売上高は128百万円（同11.9%増）となりました。

<地域別内訳>

① 日本

日本国内におきましては、設備投資の先送りなどにより需要が大きく停滞し、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は1,025百万円（同37.7%減）となりました。

② 北米・中南米

北米・中南米におきましては、主力の放送関連機器の販売が好調に推移し、売上は大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は546百万円（同117.1%増）となりました。

③ アジア

アジアにおきましては、中国において主力の放送関連機器の販売が堅調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は386百万円（同2.9%増）となりました。

④ その他

その他の地域におきましては、欧州において4K映像フォーマット対応関連機器などをはじめとする主力の放送関連機器の販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は365百万円（同31.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し、5,175百万円となりました。減少の主な要因は、現金及び預金が224百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が401百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ222百万円減少し、833百万円となりました。減少の主な要因は、退職給付に係る負債が131百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ195百万円減少し、4,342百万円となりました。自己資本比率は2.7ポイント増加し、83.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の終息の見通しが立たない状況が未だ続いており、経済活動の先行きは、不透明感がさらに増しております。

現在、感染の再拡大による世界的な経済活動停滞の影響を受けて、設備投資を一時的に見送るなどの慎重な姿勢が見られており、引き続き厳しい見通しとなっております。

今後、新型コロナウイルス感染症拡大が終息した際には、国内・海外とも放送局の更新需要に加え、4K放送への設備投資も回復すると見込まれております。また中国では、2022年2月に開催予定の北京冬季オリンピック・パラリンピックの放送に向けた設備投資も見込まれております。さらに映像信号のIP化が世界的に注目されており、IP化への移行に伴う関連設備の需要が見込まれております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、収益力のさらなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と新技術の開発に注力してまいります。また映像信号のIP化に関する技術セミナー等を国内外のお客様へ展開しながら、関連製品の営業力を強化し、さらなる売上、利益の拡大を推進してまいります。

なお、2020年11月4日に公表いたしました2021年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176,966	2,401,556
受取手形及び売掛金	989,895	588,532
電子記録債権	130,103	109,106
商品及び製品	486,393	413,934
仕掛品	4,793	10,624
原材料及び貯蔵品	44,643	42,121
短期貸付金	240,000	240,000
未収還付法人税等	59,098	44,158
その他	55,987	67,083
貸倒引当金	△2,451	△4,966
流動資産合計	4,185,430	3,912,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	453,897	443,903
土地	12,420	12,420
その他(純額)	123,567	132,795
有形固定資産合計	589,885	589,119
無形固定資産		
のれん	335,576	282,031
技術資産	240,576	157,948
その他	81,944	73,439
無形固定資産合計	658,098	513,419
投資その他の資産		
投資有価証券	43,203	53,430
繰延税金資産	64,219	33,765
生命保険積立金	35,029	37,513
その他	20,079	38,462
貸倒引当金	△1,970	△1,970
投資その他の資産合計	160,561	161,201
固定資産合計	1,408,544	1,263,741
資産合計	5,593,975	5,175,892

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,663	127,101
短期借入金	20,848	49,756
未払法人税等	57,722	35,030
賞与引当金	58,119	31,217
その他	257,241	194,042
流動負債合計	533,595	437,148
固定負債		
長期借入金	—	27,218
退職給付に係る負債	432,727	300,918
繰延税金負債	46,489	20,258
その他	43,527	48,316
固定負債合計	522,744	396,710
負債合計	1,056,339	833,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,315,685	1,324,765
資本剰余金	1,855,002	1,864,082
利益剰余金	1,531,554	1,351,291
自己株式	△29	△53
株主資本合計	4,702,212	4,540,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,015	△369
為替換算調整勘定	△176,301	△217,806
その他の包括利益累計額合計	△183,317	△218,176
新株予約権	18,739	20,121
純資産合計	4,537,635	4,342,032
負債純資産合計	5,593,975	5,175,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,549,242	2,323,699
売上原価	855,805	919,321
売上総利益	1,693,436	1,404,378
販売費及び一般管理費	1,457,877	1,494,616
営業利益又は営業損失(△)	235,558	△90,238
営業外収益		
受取利息	3,565	1,874
受取配当金	2,318	2,337
受取家賃	9,720	9,720
為替差益	—	4,851
助成金収入	—	24,375
貸倒引当金戻入額	—	26
その他	2,447	2,862
営業外収益合計	18,052	46,047
営業外費用		
支払利息	1,702	535
売上割引	566	531
為替差損	20,528	—
その他	458	287
営業外費用合計	23,255	1,353
経常利益又は経常損失(△)	230,355	△45,544
特別利益		
固定資産売却益	352	—
新株予約権戻入益	—	15
特別利益合計	352	15
特別損失		
固定資産除却損	129	440
退職給付制度終了損	—	1,774
特別損失合計	129	2,215
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	230,578	△47,745
法人税、住民税及び事業税	57,622	13,480
法人税等調整額	5,585	3,689
法人税等合計	63,208	17,170
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,369	△64,915
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	167,369	△64,915

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,369	△64,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,439	6,646
為替換算調整勘定	△4,130	△41,505
その他の包括利益合計	△7,570	△34,859
四半期包括利益	159,799	△99,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,799	△99,774
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。